

河川機械設備のあり方 今後検討すべき主要論点の再整理

I 河川機械設備のあり方にかかるパラダイムシフト

1. 総合信頼性 (dependability) の導入
2. 気候変動の影響を考慮した計画・設計
3. 効率的な更新を行うための設計・整備
4. 機械設備のマスプロダクツ化・規格化
5. マスプロダクツ化等を踏まえた機械設備の新たな保全方法
6. 機械設備の設置における性能規定の導入
7. 新たな技術開発手法の導入
8. 機械設備の遠隔操作の導入

**ポンプ設備を先行して中間とりまとめ済み
水門設備を含め再整理・議論**

水門設備が抱える 課題抽出

例えば、

- ・操作に関する課題
- ・点検・維持管理に関する課題
- ・更新手法に関する課題
- ・新技術(新素材・新形式)の導入
- ・危機管理(開けるべきゲート、閉めるべきゲート)に関する課題

など

II 河川機械設備の諸課題への対応

9. 地方自治体への支援
 10. 企業の技術力の維持・向上
 11. 河川機械設備の情報収集・分析体制の構築
- ポンプ設備、水門設備について、今後あらたに議論する論点**

**再整理した主要論点
第5回小委員会にて提示**